資料４

# 中部国際空港代替滑走路事業に係る環境影響評価準備書についての部会報告（ 案 ）

## はじめに

中部国際空港代替滑走路事業に係る環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

事業者は、以下の事項について十分に検討し、その結果を環境影響評価書（以下「評価書」という。）に記載するとともに、評価書に記載される内容に従って環境保全に万全を期する必要がある。

## １　全般的事項

（１）事業の実施に当たっては、準備書に記載されている環境保全への配慮事項や環境保全措置を確実に実施することはもとより、環境保全対策に関する最善の利用可能技術の導入や脱炭素化に関する取組を推進するなど、より一層の環境影響の低減に努めること。

（２）環境への影響に関して新たな事実が判明した場合等においては、必要に応じて適切な措置を講ずること。

## ２　騒音

航空機の飛行経路等が変化することから、環境監視調査を確実に実施することにより、周辺地域に対する環境影響を適切に把握すること。

## ３　水質

工事の実施に当たっては、裸地等から発生する濁水の流出防止のため、環境保全措置を徹底するとともに、水の濁りの状況を確認した上で、必要に応じ適切な措置を講ずること。

## ４　動物

バードストライクの発生をより一層抑制するため、バードストライクの発生状況や鳥類の特性等を分析し、より効果的な手法の導入に努めるとともに、空港関係者と連携したバードパトロール等の対策を徹底すること。

## ５　その他

（１）評価書の作成に当たっては、住民等の意見に配慮するとともに、わかりやすい図書となるよう努めること。

（２）事業の実施に当たっては、地元への丁寧な説明等の積極的な情報発信を行うとともに、住民等からの環境に関する要望等に適切に対応すること。

# 検　討　の　経　緯

| 年　月　日 | 会　議 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 令和６年３月２２日 | 審 査 会 | 知事からの諮問<br>準備書の内容の検討<br>部会の設置及び付託 |
| 令和６年４月２６日 | 部　会 | 準備書の内容の検討<br>住民意見の概要等の検討<br>関係市長意見の検討 |
| 令和６年６月６日 | 部　会 | 準備書の内容の検討<br>公聴会意見の検討<br>部会報告の検討 |

愛知県環境影響評価審査会　セントレア滑走路部会構成員

| | | |
|---|---|---|
| 市野　良一 | | 名古屋大学大学院工学研究科教授 |
| 伊藤　由起 | | 名古屋市立大学大学院医学研究科准教授 |
| ◎大石　弥幸 | | 大同大学名誉教授 |
| ○長田　和雄 | | 名古屋大学大学院環境学研究科教授 |
| 片山　直美 | | 名古屋女子大学大学院生活学研究科教授 |
| 北村　亘 | | 東京都市大学環境学部准教授 |
| 中野　正樹 | | 名古屋大学大学院工学研究科教授 |
| 宮﨑　多惠子 | | 三重大学大学院生物資源学研究科准教授 |
| 横田　久里子 | | 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授 |

◎部会長　○部会長代理　　　　　　　　　（敬称略、五十音順）